

ワンポイントメール相談回答書

サンプル

平成 20 年 0 月 00 日

住まいの診断はじめての一步

有限責任事業組合 安心な住まい創造プロジェクト

ワンポイントメール相談回答書

平成 20 年 0 月 00 日

様

住まいの診断はじめての一步

〒160 - 0004 東京都新宿区四谷 4-6-1-907
有限責任事業組合 安心な住まい創造プロジェクト
TEL/FAX 03 - 6379 - 4176
e-mail support@sumai-anshin.com



ご相談内容の確認

先日、リフォーム業者に、瓦屋根は重いので耐震性が低いと言われました。
軽い屋根への葺き替えを勧められたのですが（鋼板製の屋根材とのこと）、瓦屋根だと本当に地震に弱いのでしょうか？
ちなみに我が家は、木造2階建て住宅です。回答よろしくお願ひします。

サンプル 回答

瓦などの重い屋根と、軽い屋根を比較すれば、確かに軽い屋根の方が地震力に対しては有利です。

重たい物を支えるより、軽い物を支える方が、より少ない力で支えられるからです。

しかし、瓦屋根だからといって、耐震性が低い住宅と決め付けるべきではありません。瓦屋根の重量を適切に考慮した設計・施工がされていれば、瓦屋根でも耐震性の高い住宅になるからです。

在来木造住宅の場合、地震や台風による横方向からの力は、「耐力壁」という壁で支える仕組みになっています。耐力壁は主に、筋交いといわれる斜め材を用いて三角形を作り、強度をもたせるのです。（構造用合板などを用いて面全体で力をもたせる場合もあります）

建築基準法でも、軽い屋根と重い屋根に応じて、耐力壁の量を設定するように定められ

ているのです。

ただし、耐力壁の量を確実に満たすようになったのは近年ですので、古い建物の場合は、耐力壁の量自体が不足している可能性があります。（屋根の種類に係わらず）

軽い屋根への葺き替えを勧めた業者は、これら耐力壁の量を調べた上で、軽い屋根を薦めているのでしょうか？ 何も調べずに、見た目で言っているのであれば注意した方が良いでしょう。

様が、ご自宅の耐震性を心配されているのであれば、屋根の材料だけを考えるのではなく、耐力壁量や建物の痛み具合など、建物全体の状況を把握した上で、耐震補強の方法を検討すべきでしょう

サンプル

以上

お知らせ

ワンポイントメール相談は、本回答書に疑問点がある場合、無料で1回質疑ができます。質疑事項は、ワンポイントメール相談の相談フォームにご記入していただくか、「soudan@sumai-anshin.com」に電子メールで送ってください（電子メールには必ずお名前をご記入ください）。3～5日程度で、電子メールにて回答を送信いたします。

免責事項について

- ・ワンポイントメール相談の回答書は、対象住宅の安全性・耐久性・その他いかなる品質・価値を保証するものではありません。
- ・ワンポイントメール相談のご利用によって、利用者に不利益・損害が発生した場合、有限責任事業組合安心な住まい創造プロジェクトは一切の責任を負うことはありません。